

あべともこニュース

これまでもこれから、いのち・暮らし・平和の為に。



衆議院議員あべともこ
プロフィール

神奈川12区（藤沢市・寒川町）
当選9回、東京大学医学部卒業、
小児科医、あべともここども
クリニック（湘南台）理事長
現在、環境委員会
原子力問題調査特別委員会委員



あべともこ
公式X (旧Twitter)
@abe_tomoko

https://twitter.com/abe_tomoko



あべともこ事務所
公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ

検索



◆初当選から25年、いのちを守る。

25日、阿部とも子は、衆議院より永年在職の表彰を受けました。2000年6月の初当選から、藤沢市・寒川町の皆さまから多くのご声援を賜りましたことを改めて感謝いたします。

徳洲会の勤務医であった当時、今は亡き徳田虎雄理事長から、「弱い立場の患者さんに接する医師には、身を低くして相手の思いを聞く選挙の経験は大事故だから頑張りなさい」と後押しされ、議員となり、医療政策の充実に務めました。2011年の東日本大震災福島第一原発事故以降は、原発ゼロを掲げ、水俣病やPFASをはじめとした環境問題にも取り組んでいます。現在は、緊迫したガザに暮らす人々のいのちを救うべく、人道外交にも奔走しています。9期目を迎えましたが、これからもこの湘南の地から、皆さまと共に、いのちと平和、そして暮らしを守るべく活動してまいります。

◆メデイカル・エバキューエーション

15日、赤松政経塾にて「戦後日本の原点に立ち返り、人道外交を」と題し、講演。事務局長を務める超党派「人道外交議員連盟」の取り組み、主に「メデイカル・エバキューエーション（ガザ域外に患者を移送）」の重要性について紹介。また、25日には議連総会で寺島実郎氏から、「日本は中東とどう向き合うか―中東外交の歴史と今後―」について講演をお聞きして、激動する中東情勢の中で、日本がどのような役割を担うべきかの示唆をいただきました。

そうした中、翌26日に日本政府がガザから2名を移送し、自衛隊病院にて治療することが発表されました。議連として求めていたことがようやく実現されたところですが、WHOによれば、まだ一万人以上が治療を待っており、これからも継続的取り組みが必要です。イスラエルによる空爆再開で、現地マスコミ関係者も亡くなるなど事態は深刻化しています。引き続き停戦継続と復興へ尽力してまいります。

◆しいのみ学園卒園式

22日、太陽の家しいのみ学園の卒園式に参加しました。

3月は卒園式の季節。しいのみ学園は、3歳から6歳までの小学校入学前の児童発達支援を担い、阿部とも子は園医です。現在は、あちこちで児童発達支援の取り組みがありますが、しいのみには障がいが高く、通常よりもたのみに支障の手が必要なお子さんが通われています。口からは食べられないので胃瘻から食事を摂るお子さんや、呼吸器をつけているお子さんもいます。染色体異常もさまざま、重度で寝た姿勢のままや痙攣のあるお子さんもいます。また最近では発達障害のお子さんも増えました。

まずはお母さんと離れて、園で過ごせるかどうか、に始まり食事も上手に食べられるか、みんなと遊べるかなど、でも三年間でどのお子さんもそれぞれに見違えるほど成長していきま。卒園式はちよっぴりおすまし、わしい、次は小学校です。

